

公立大学法人青森公立大学

平成30年度 業務実績評価書

令和元年8月

青森市地方独立行政法人評価委員会

目 次

I	評価の基本的な考え方等	1 頁
II	全体評価	
1	総評	3 頁
2	業務の実施状況	3 頁
3	組織、業務運営等に係る改善事項等	4 頁
III	項目別評価	
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	5 頁
2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	6 頁
3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	7 頁
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	8 頁
5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	8 頁
6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	9 頁
7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	9 頁

I 評価の基本的な考え方等

青森市地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2の規定に基づき、公立大学法人青森公立大学（以下「法人」という。）の平成30年度における業務実績について評価を行った。

評価の実施に当たっては、当評価委員会が定めた「公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領（平成22年3月30日決定）」に基づき、法人の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行うものである。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項（以下「大項目」という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的な進捗状況を評価する。

【大項目】

- ①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）
- ②教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）
- ③教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- ⑤経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- ⑥自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- ⑦その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

【5段階評価】

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成30年度における業務実績の全体について、記述式により市民にわかりやすい表現等に努めながら総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

3 青森市地方独立行政法人評価委員会委員

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	若井 敬一郎	青森商工会議所会頭
委 員 (委員長職務代理者)	藤本 幸男	公立大学法人青森県立保健大学事務局長
委 員	西谷 俊広	日本公認会計士協会東北会青森県会会員
委 員	佐々木 知彦	(株)青森銀行 取締役専務執行役員
委 員	内山 清	青森中央学院大学大学院地域マネジメント研究科 研究科長

Ⅱ 全体評価

1 総評

公立大学法人青森公立大学は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、青森市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出と、大学が持つ知的財産を市民に還元し、経営経済をはじめとする各分野において、市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。

第2期中期目標期間（平成27年度から令和2年度まで）の4年目となる平成30年度は、県内企業バスツアーの実施などの取組により、就職率が、目標値96.0%に対して、99.7%と平成29年度の99.3%をさらに上回っており、高い実績をあげていると評価できる。

教育研究の質向上に関する多くの取組を実施し成果を上げていること、公開講座のケーブルテレビ放送やまちなかラボでの動画閲覧などにより研究成果の地域貢献が着実になされていると評価できる。

今後も、産学官の連携を一層推進することにより、青森市が掲げる施策の推進に貢献し、市民生活及び文化の向上への寄与に対し、より大きな成果を期待する。

よって、平成30年度の年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

2 業務の実施状況

戦略的研究助成事業制度において、学長が大学の教育研究上有意義と認めるものを対象とする「指名型」が新設されている。

公開講座のケーブルテレビ放送やまちなかラボで動画が閲覧できる環境が整備されている。

業務運営の改善及び効率化に関しては、職員の業績評価が試行されている。

経営・財務内容の改善及び効率化に関しては、外部研究資金やその他の自己収入の獲得に向けた取組として、受験生確保のための高校訪問、オープンキャンパスの実施ほか、様々な媒体による情報発信が行われている。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供並びにその他の業務運営に関しては、安全管理に関して、避難訓練、AED

講習会の実施などの防災対策に加え、不審者への対応に関する講習会などの防犯対策の強化が図られており、その他の事項についても着実に実施されている。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

学生の受入に関して、大学院課程については、入学定員を変更するとともに、大学院改革を行っていくとしたところであるが、今後はその成果が現れるよう取組を行うことを求める。

職員を対象とする業績評価を試行したところであるが、その試行結果を踏まえて早期に本格的に実施することを求める。教員を対象とする人事評価の試行が実施されていないことから、一層の検討と取組を求める。

受託研究・受託事業等による外部研究資金については、引続き獲得に努めることを求める。

Ⅲ 項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>教育方法の改善に関して、アクティブラーニング室における授業が平成29年度の251コマから325コマへと大幅に増加しており、学生の主体的・能動的学習が推進されていると認められる。今後は、具体的な活動内容を意識し、さらなる学習方法の充実が図られることを期待する。</p> <p>キャリア支援に関して、県内企業バスツアーの実施、首都圏等での就活拠点の確保等により、就職率が99.7%と平成29年度の99.3%を上回る実績となったことは評価できる。</p> <p>県内就職率は38.7%と平成29年度の36.2%を上回ったものの、より一層の取組を期待する。</p> <p>グローバル化への対応に関して、平成30年度は、アメリカへの留学の学生派遣がなかったところであるが、グローバル化した現代社会で活躍する人材を育成していくためにも、多くの学生が海外での教育の機会の充実が図られるような取組を期待する。</p> <p>大学院課程については、入学定員を変更するとともに、大学院改革を行っていくとしたところであるが、今後はその成果が現れるよう取組を行うことを求める。</p> <p>教育プログラムの検証・再編に関して、「大学院カリキュラムの検証及び改善を継続する」、学修環境の整備に関して、「学修環境に関する大学院生のニーズ調査を継続し、必要な改善を行う」という年度計画については、検証に留まらず具体的に取り組むことを求める。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>研究内容に関して、戦略的研究助成事業制度において、学長が大学の教育研究上有意義と認めるものを対象とする「指名型」を新たに設けるなど、研究活動が推進されていると認められる。</p> <p>研究成果に関して、公開講座をケーブルテレビを通じて放送するほか、公開講座の動画をまちなかラボで閲覧できる環境を整備するなど、研究成果の地域への還元がなされていると認められる。</p> <p>研究実施体制等の整備に関して、教員サバティカル制度（長期研修制度）を、教員が利用しやすいよう制度改正を行い、運用されていることは評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>研究成果の地域への還元に関して、地域貢献に係る研究を促進するため、教員や地域連携センターの研究員に、地域貢献に関する研究活動費を配分し、地域貢献活動の推進を図ったことは評価できる。</p> <p>地域の企業、NPO等との連携に関して、あおもりドローン利活用推進会議の事業運営協力などに際しては、大学の経営資源を多面的に活用して地域のドローン利用を加速させていくことが期待される。</p> <p>県内市町村との連携に関して、新たに鱒ヶ沢町と地域経済活性化、地域住民の生活環境の改善、人材育成に関する連携協定を締結しており、市町村との連携が推進されていると認められる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>広報活動の推進に関して、大学の特色や魅力・取組みを効果的に情報発信するために、提案プロポーザルの導入により、ホームページ等の充実を図ったことは評価できる。</p> <p>人事の適正化に関して、職員の業績評価を青森市の制度に準拠して試行したことは評価できるが、その試行結果を踏まえて、早期に本格的に実施するよう求める。</p> <p>教員の人事評価については、第2期中期計画期間内の試行の実施に向け、評価基準や評価項目、評価手順等について検討段階にとどまっており、早期に試行実施されるよう求める。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

5	経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>外部研究資金その他の自己収入の増加に関して、入学志願者増加による検定料の増加、受託研究・受託事業等による外部研究資金の獲得や様々な取組の成果として収入増加に結びついていることや、経費抑制への取組は評価できるが、引続き外部研究資金の獲得に努めることを求める。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>平成29年度業務実績報告書において計画を十分に実施していない項目のフォローアップを行い、公表したほか、評価委員会からの評価結果を踏まえ提案事項等に適切に対応されていると認められる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>安全管理に関して、避難訓練、AED講習会の実施などの防災対策に加え、不審者への対応に関する講習会などの防犯対策の強化が図られていることは評価できる。</p> <p>施設設備の整備・活用等に関して、国際芸術センター青森において、小学生を対象とした創作体験活動が実施されており、この活動が、高校生等にも拡大していくことを期待する。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			